

事務事業名	道水路の維持管理事業		所属部局	建設部	単位番号	7008					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	道路整備課	課長名	新津 元博					
			所属担当	維持担当	担当者名	三柵 武					
基本政策	基本計画	Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	Ⅺ	道路網の整備	事業区分	01	一般	08	02	01	020	02	
施策	ⅱ	生活関連道路の整備		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業						
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業						
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金								
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)								
	市民生活の安全性、快適性を確保するために、市内全域の道水路の維持管理を行い安全性で快適な道路環境を維持する。 ・市内の道水路維持修繕・・・6地区 ・道路街路灯・・・781基 ・市道の草刈・・・70箇所 ・市道凍結の為の維持管理		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
概要			需用費	85,011	原材料費	4,994					
			役員費	2,878							
			委託料	7,480							
			使用料及び賃借料	1,014							
			工事請負費	15,681	計	117,058					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容	27年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
	市民生活の安全性、快適性を確保するために、市内の維持管理を行なう。道水路の修繕、街路灯の管理、市道の草刈等を予定	市民生活の安全性、快適性を確保するために、市内の維持管理を行なう。道水路の修繕、街路灯の管理、市道の草刈等を予定		名称	単位
				ア 各地区の電気	月数
				イ 緊急修繕路線数	箇所
				ウ 道路維持路線数	箇所
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・道水路の利用者 ・市民		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア 人口	人
				イ 人口	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・安全に通行できるようになる ・快適に暮らせるようになる		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア 修繕箇所数/必要箇所数	%
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・安全に通行できるようになる ・快適に暮らせるようになる		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア 道路整備に関する住民の満足度	%
				イ 生活環境に関する住民の満足度	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	6,150	6,150	6,250	6,250				
		一般財源	千円	53,250	197,653	95,505	94,034				
		事業費計(A)	千円	59,400	203,803	101,755	100,284	0	0	0	
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	9	9	9	9				
		延べ業務時間	時間	810	810	810	810				
		人件費計(B)	千円	3,686	3,686	3,686	3,686	0	0	0	
		(A)+(B)	千円	63,086	207,489	105,441	103,970	0	0	0	
活動指標	ア	月数		52.0	52.0	52.0	52.0				
		箇所		42.0	42.0	42.0	42.0				
		箇所		2.0	2.0	2.0	2.0				
対象指標	ア	人		72,900.0	73,000.0	72,933.0	73,100.0				
		人		72,900.0	73,000.0	72,933.0	73,100.0				
成果指標	ア	%		100.0	100.0	100.0	100.0				
上位成果指標	ア	%		42.2	38.9	43.4					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	道路、水路等の安全性を確保するため
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	道路、水路等老朽化に伴い維持管理に費用がかかる
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	道路、水路等の安全性を確保するため老朽化に伴い早期に行ければならない修繕要望が多数きている。毎年厳しい予算の中で市民からの満足度に達していない。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	各地区からの多数の危険箇所の修繕要望があり毎年500件近く寄せられている。順次行っているが、事故等を未然に防止する観点から予算の増大と職員の数が足りない状況である。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	H26年度の維持担当内で傷病休暇者が2名出てしまい、人員的に非常に厳しい状況であったが、危険を伴う緊急対応を職員による直営にて対応してきた。

事務事業名	道水路の維持管理事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 道水路の維持補修により快適性や安全性を確保することは、道水路環境整備に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公共施設等の適正維持管理は、市が行う義務がある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 公共施設等の適正な維持管理業務のため、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人員と時間において執行しているので、向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域要望であるためできない。 地域要望であるためできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 安価にて執行しているため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在でも人員が不足している状況であるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 地域住民のための事業の推進につながるので公平・公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地区要望箇所等の改修や修繕は、年々増加していく傾向にあり、厳しい財政状況の中で対応することに苦慮しているのが現状である。しかしながら限られた予算の中で、地区要望箇所の的確な選定並びに安全性を最優先に考える中で施行箇所の決定し実施していく必要がある。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 様々な道水路の構造物の老朽化が進む中、橋梁については長寿命化計画を策定し、計画に基づき順次進めている。 他の構造物についても、調査及び長寿命化計画を策定し、計画的に進めていきたい。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 修繕費用に追われ、調査及び計画策定の予算確保が厳しい状況にある。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑦</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	①	コスト削減優先度評価結果	⑦																	
成果優先度評価結果	①																					
コスト削減優先度評価結果	⑦																					